

事故の3つの特徴

1 作業機取替、点検修理中の事故(24.1%)

- 機械への挟まれ、回転部への巻き込まれ
- ⇒修理手順の教育・研修、エンジン停止

2 降車・乗車時の事故(24.1%)

- 降車時の転倒、ステップでの滑り
- ⇒乗降場所の確認、両手で支える

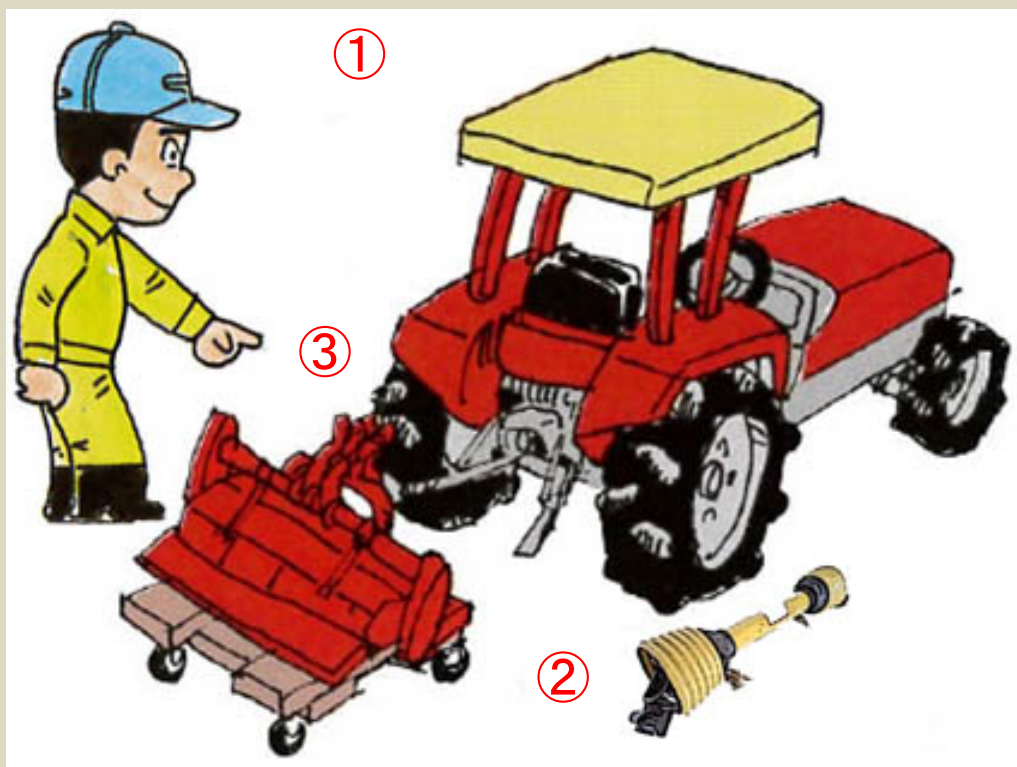
3 接触・巻き込まれによる事故(20.7%)

- 回転部への巻き込まれ、意図しないレバー操作による接触
- ⇒つまり除去時はエンジン停止、作業に適した服装

1. ロータリー・ハローの着脱

下の絵を見ながら、チェックするポイントを整理しましょう。

- ①作業場所
- ②ユニバーサルジョイントの接続
- ③手順の確認



1. ローターリー・ハローの着脱

事項	チェック内容	チェック欄		対策優先
		そうだ	ちがう	
作業場所 (環境)	作業機を取り替える十分なスペースがある。			
	作業場所は水平で傾斜がない。			
ユニバーサルジョイントの 接続(機械)	支持台、またはそれに代わるもので支えている。			
手順の確認	正規の方法を習ったことがあり、その手順で行っている。			

リスクカルテ解説書:「農業生産工程管理(GAP)と農作業安全」p18、「運転技能講習」p28、「ホイスト、クレーンの安全使用」p48、「フォークリフト、フロントローダの安全使用」p50 参照

- ✓ 作業機を取り替える十分なスペースがある。
- ✓ 作業場所は水平で傾斜がない。

《事故事例》

作業場、整理整頓、調整作業 (軽傷)

倉庫内でロータリーの尾輪を
放置したまま、培土機の深さ
調整をトラクターに乗り降りし
ながら行っていて、尾輪につ
まずき転倒。トラクターの
チェーンケースに右前頭部強
打、打撲・通院治療。(平成25
年8月 19時頃、男性・65歳)



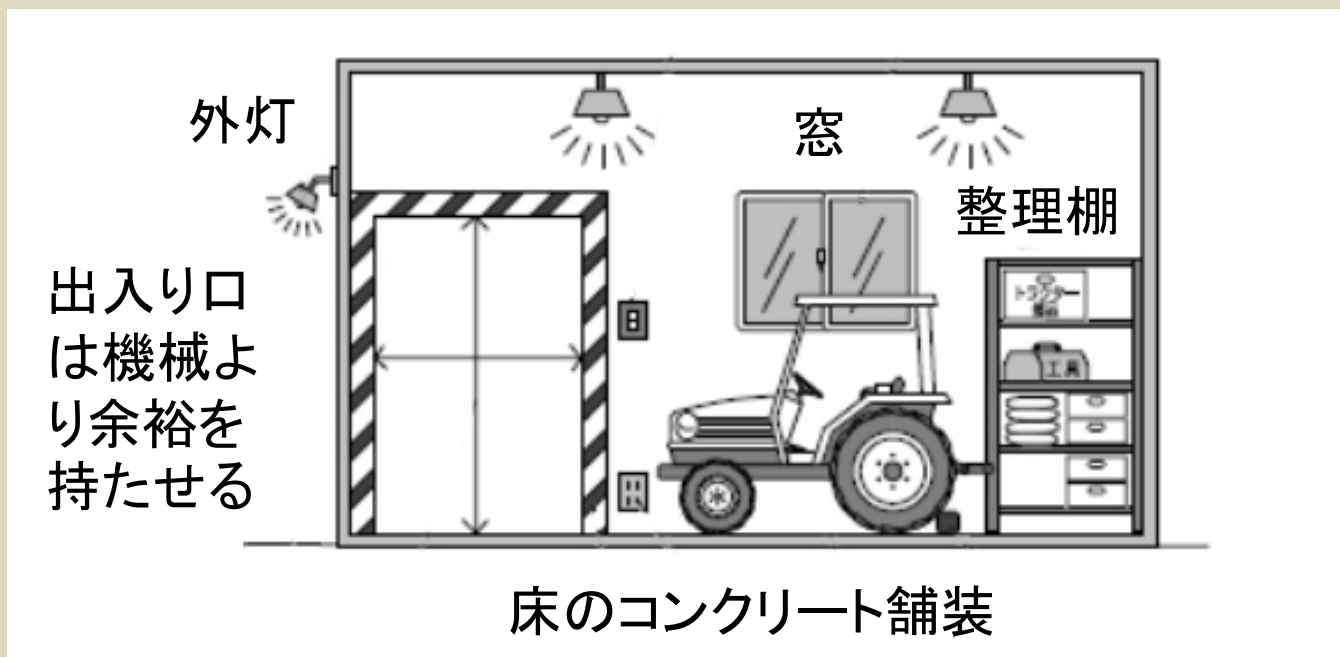
(一社)日本農村医学会編「こうして起
こった農作業事故」(No.IV)p100より

《なぜ》トラクター作業機は重量もあり、ユニバーサルジョイントの
着脱や3点リンク調整等、多くの作業を必要とします。

- ✓ 作業機を取り替える十分なスペースがある。
- ✓ 作業場所は水平で傾斜がない。

《改善のポイント》

- ① 作業場所は、常にきれいに整頓し、十分なスペースを確保して、余裕をもって作業します。
- ② 作業場所には適切な照明を用いるとともに、庫内でエンジンをかけることもあるので、換気設備も確保します。



✓ ユニバーサルジョイントの連結のため、支持台、またはそれに代わるもので支えている。

《事故事例》

作業機取り替え

(右手第4指挫滅創)

トラクターのロータリー付け替え時、トラクター側のPTOに右手薬指先端を挟み負傷、右手薬指挫滅創、治療せず。(平成16年4月9時頃、男性・54歳)



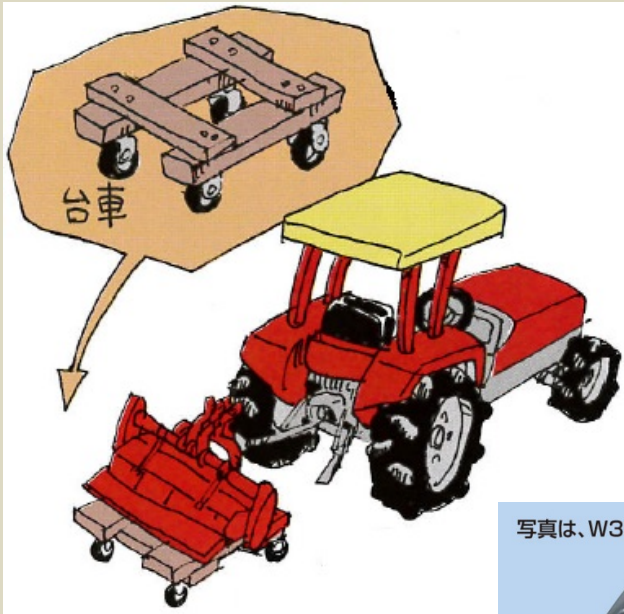
(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p90より

《なぜ》ユニバーサルジョイントは、重く扱いにくい部品です。着脱は中腰になることが多く、作業姿勢の面からも注意を要します。

✓ ユニバーサルジョイントの連結のため、支持台、またはそれに代わるもので支えている。

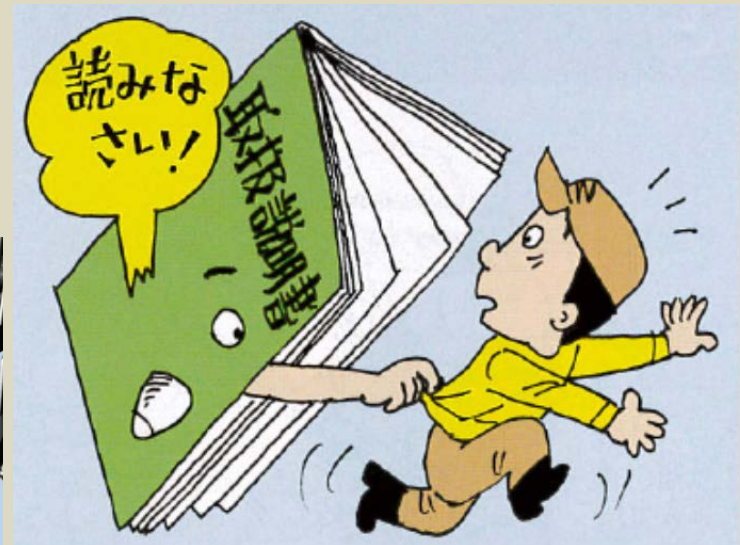
《改善のポイント》

- ①作業機をキャスター付きの台車に載せて保管することによって、着脱を簡単に行うことができます。
- ②オートヒッチ(クイックヒッチ)の活用も検討します。



《追加のポイント》手順を熟知

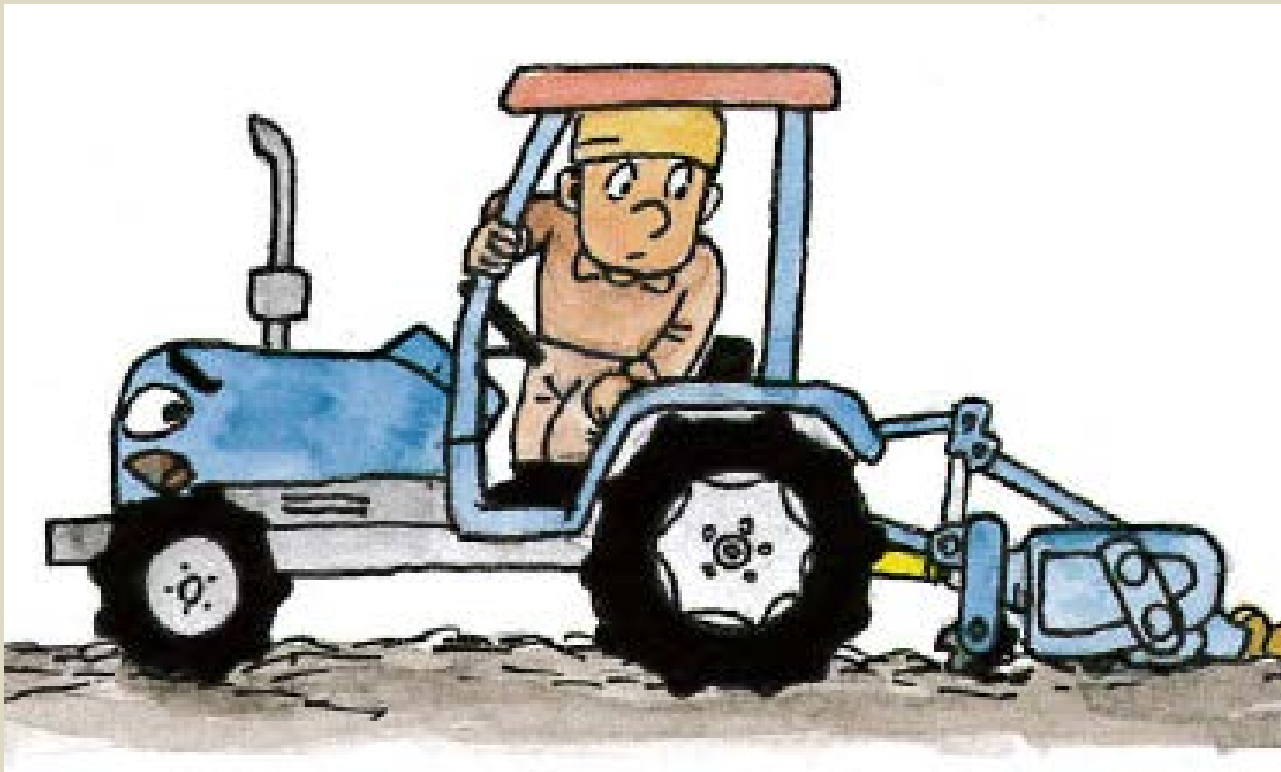
- ①取扱説明書の理解を深めましょう。
- ②「技術研修会」へ積極的に参加しましょう。



2. 乗用トラクターの乗り降り

下の絵を見ながら、チェックするポイントを整理しましょう。

- ①乗るとき
- ②降りるとき
- ③服装



2. 乗用トラクターの乗り降り

事項	チェック内容	チェック欄		対策優先
		そうだ	ちがう	
乗降場所 (環境)	降りる場所の路面が滑らない、石など不安定になるものがない。			
	乗り込むときは、ステップを確認し、取手等をつかんで乗り込む。			
服装 (作業者)	トラクター作業の際は、引っ掛かりや巻き込まれにくい服装をし、滑りにくい靴、ヘルメットを装着している。			

リスクカルテ解説書:「運転技能講習」p28、「危険予知訓練」p42、「安全な服装」p64 参照

✓ 降りる場所の路面が滑らない、石など不安定になるものがない。

✓ 乗り込むときは、ステップを確認し、取手等をつかんで乗り込む。

《事故事例》

確認不足(軽傷)

乗用トラクターで除雪中、障害物に気づきトラクターを降りようとしたとき、地面が凍っていて足を滑らせ仰向けに倒れ、地面に右肩を強打、打撲。(平成26年2月 11 時頃、男性・63歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p39より

《なぜ》乗用トラクターは車高が高く、飛び降りたり、飛び乗ったりすることは厳禁です。

- ✓ 降りる場所の路面が滑らない、石など不安定になるものがない。
- ✓ 乗り込むときは、ステップを確認し、取手等をつかんで乗り込む。

《改善のポイント》

- ①降りるときは、自動車でも水溜まりを避けて止めるように、降り立つ地面の状態を確認し、後ろ向きに慎重に降ります。
- ②乗るときは、乗用トラクターの座席位置が高いため、ステップ位置を確認し、取手やハンドルをしっかり持って、両手で体を支えながら、安定した姿勢で乗り込みます。





トラクター作業の際は、引っ掛かりや巻き込まれにくい服装をし、滑りにくい靴、ヘルメットを装着している。

《事故事例》

作業着の袖、引っ掛かり
(右前腕負傷)

ブームスプレーヤを乗用トラクターから外すときに、昇降レバーに触れ、スプレーヤとトラクターの間に挟まれた。右前腕負傷。
(平成23年頃 6月 7時頃、農機庫の前、男性・38歳)

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No. II) p61より



《なぜ》乗用トラクターの運転席周りには、様々なレバー類や突起があり、意図しない動きを誘発する危険があります。

✓ トラクター作業の際は、引っ掛かりや巻き込まれにくい服装をし、滑りにくい靴、ヘルメットを装着している。

《改善のポイント》適切な服装

衣服が運転席周りのレバー類に引っ掛かからないよう、適切な服装を心がけます。また、転倒したときに最も大事な頭部を守る、ヘルメットを着用することも重要です。

